

目黒区学童保育クラブ 第三者評価を踏まえた改善計画・実施状況

学童保育 クラブ名	愛隣会 学童保育クラブ	実施年度 (※)	令和 3 年度
--------------	-------------	-------------	---------

※第三者評価実施の年度

項目	評価結果に基づく現状分析	改善計画	実施状況(予定を含む) (令和年 4 月 30 日時点)	左記実施状況に実施予定が あった場合の実施状況 (年 4 月 30 日時点)
危機管理 マニュアルの改訂・活用 への取り組み について	指摘改善点にある通り、当学童保育クラブに危機管理マニュアルは存在しているが、それをきちんと活用しきれていない。また、これらのマニュアルがしっかりと全職員に周知しきれているかについても、入職時に説明しただけで、その後の改訂事項や説明等が不十分である。	今一度、クラブの危機管理マニュアルに目を通し、内容の再確認をする。特に、新型コロナウイルス感染症対策に関する項目が不十分である為、そこも含めて内容がきちんと現状に活かせるものかどうか検討したい。併せて、細かな文言の変更も含めて時間をかけて取り組んでいくこととする。	1 実施済み 2 実施予定 (令和4年5月～7月末ごろ) 具体的には以下のとおりです。 ・5月～:内容の再確認 ・6月～:内容の見直し・ 検討 ・7月～:施設長確認	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。
学童保育 クラブ OG・OG 等の地域 の子ども 受け入れ について	OB・OG について、新型コロナウイルス感染症が流行する前は、比較的頻繁に OB・OG の来所があり、クラブで自由に遊びつつ、在籍児童とも一緒に楽しく遊んでいた。しかし、令和2年3月以降は国からの緊急事態宣言や蔓延防止措置等の宣言を受け、OB・OG の来所は断っていた。これが解除された令和4年3月あたりからは、再び受け入れ可とし、当学童保育クラブに来所する OB・OG は増えている。	現在、目黒区の学童保育クラブ受け入れは小学1～6年生までになっており、現在 OB・OG として来所する子ども達も在籍児童と同学年である。これを踏まえると、彼らをボランティアとして受け入れることは難しい。しかし、長い目で見ると、クラブを退所した後もなお、クラブに足を運ぶ気持ちは大変貴重であり、継続して関わりを持つ必要性を感じる。将来的(彼らが中学生、高校生になった時)には、十分にボランティアとしての役割を担うことができると考えられる為、引き続き OB・OG の来所は積極的に受け入れる。今年度、OB・OG が遊びに来た際は10月末に開催予定のクラブ祭りお手伝いスタッフとして参加してもらえるかどうか、働きかけていくこととする。	1 実施済み 2 実施予定 (令和4年5月～) 具体的には以下のとおりです。 ・5月以降に来所する OB・OG にクラブ祭りお手伝いスタッフの説明を行い、希望があれば申込書に記入してもらおう。 ・クラブ祭りが開催される10月、申込書を書いてくれた児童に個別に連絡し、細かい日程や内容を確認。当日お手伝いスタッフとして協力してもらおう。	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。